

カラー版は
こちらから



北海道白樺高等養護学校グランドデザイン(2025)



校訓

「自主 自主 自省」

学校教育目標

自己の能力を伸ばし、心豊かに、たくましく生きる人を育てる
～ 自主・自立・自省の姿勢を身に付け、
青年期の人格形成を図る ～

歴史と伝統の継承

SHINKA

(深化・進化・伸化・真価)

ウェルビーイング

目指す学校の姿

生徒にとって 「自主的・主体的に学習し、生きる力を育む」学校
保護者にとって 「信頼し、子どもの自立・社会参加を託せる」学校
地域社会にとって 「地域に開かれ、説明責任を果たす」学校
教職員にとって 「専門性を発揮でき、やりがいのある」学校

目指す教職員の姿

生徒理解の基、自主性・主体性を尊重する教職員
生徒の手本・見本となる教職員
生徒・保護者・同僚と傾聴と対話する教職員
専門性向上のため、学び続ける教職員

魅力ある学校・寄宿舎 となるために②

重点課題

- ① 人権を尊重する言動の徹底
- ② 自立活動の改善、実践
- ③ キャリア教育のさらなる充実
- ④ 地域貢献・連携の拡充
- ⑤ 学校教育目標の見直し

育成を目指す資質・能力

- 学んだことを社会生活で生かせる力(知識及び技能)
- 課題解決や自己選択、自己決定ができる力(思考力、判断力、表現力等)
- 職業生活・家庭生活等で適応できる力(学びに向かう力、人間性等)

職業学科としての目標

希望の就労100%(卒業3年めど)

就労の継続100%(卒業3年間)

何ができるようになるか(学校教育の基本)

- 生活自立
・自立した生活のための知識、技能、習慣等
・生活を豊かにするための余暇活動
- 社会自立
・働き続けるための勤労意欲、態度等
・良好な関係を築くためのコミュニケーション力

主語(主体)は生徒

生活する力 働き続ける力

何が身に付いたか(学校評価を通じた学習指導の改善)

- 個別的教育支援計画
- 個別の指導計画(通知表)
- 寄宿舎の生活
- 移行支援計画
- 学習評価(3観点評価)
- 年度末反省
- 教育課程の評価
- 学校評価(教職員、保護者、生徒アンケート)
- PTA、学校運営協議会

生徒の実態



何を学ぶか(教育課程の編成)

- 「体力づくり」「進路学習」「作業学習」
- カリキュラム・マネジメント
教科等横断的視点(教科等合わせた指導、
教科別指導、総合的な探究の時間等)
- 自立活動の充実
- 特別の教科道德の充実
- 学びの保障

生徒の発達をどのように支援するか

- 個別的教育プラン
一人一人に応じた指導、教育的ニーズ
- キャリア教育
良さ・可能性を伸ばし、希望の就労につ
ながる指導・支援

目指す生徒の姿

- 自ら質問や相談をし、課題を改善・解決できる
生徒(確かな学力)
- 自己を理解し、相手意識をもてる生徒(豊かな
人間性)
- 体力の向上と心身ともに健康で、生活習慣を整
えられる生徒(健康・体力)

どのように学ぶか(教育課程の実施)

- 主体的・対話的で深い学び
- 学びの地図
- 3年間で三種の作業学習
- 年3回のバス清掃実習(1学年)
- 年1回の労働週間(1学年)
- 年1回の現場実習(1学年)
- 年2回の現場実習(2学年)
- 年1回4週間の前提実習(3学年)
- 寄宿舎生活(寄宿舎生)

実施するために何が必要か(指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働)

- 効率的・効果的な指導組織体制の構築並びに専門性の向上
- 保護者・関係機関、進路先との情報共有及び信頼関係のさらなる構築
- 北広島市及び西部地区、学校運営協議会等と一体となり、生徒の教育活動の充実・拡大

安心・安全な学校

- 人権尊重
- 言語環境
- 個性尊重
- 情緒の安定
- 危機管理・環境整備
- SDGsの視点
- 適正な財政処理、
金銭管理



連携・信頼のある学校

- 保護者や関係機関との連携
- 組織的な業務推進
- 進路指導(キャリア教育)の充実
- 生徒指導・生活指導
- ICT教育
- 教職員の規範意識



開かれた学校

- 地学協働
- 特別支援教育のセンター的役割
- 情報発信
- 学校見学
- 交流及び共同学習
- 人材育成(教員の担い手)



自走する学校

- 学校運営への参画
- 専門性の向上
- 北海道アクション・プラン
- 人事評価シート(学校設定項目)

